

## 答辞

矢上高校に咲く梅の花は、例年より早く、本日満開を迎えました。厳しい寒さの中にも、春の息吹が感じられる今日の良き日、私たちはこの学び舎を巣立ちます。本日は、私たち卒業生のために、厳しい社会情勢の中、心温まる卒業式を挙げていただき、心より感謝いたします。

また、先程は、校長先生からの最後のお教えや後輩の皆さんからのお別れの言葉をいただき、こんなに多くの祝福に包まれて卒業する幸せを、私たちは決して忘れることはありません。本当にありがとうございます。

三年前の春、私たちは期待と不安を胸に、県内外から、ここ矢上高校に入学しました。新しい友達との出会いを楽しみに、わくわくしながら教室に向かったことを覚えています。初めて会ったクラスメートに声をかけ、ぎこちなく交わした会話が友達としての第一歩でした。今では大切な友達、仲間です。

この三年間、私たちは色々な思い出を作ることが出来ました。各クラスが秘密の特訓を重ね、勝利を目指し戦った球技大会。様々な山を乗り越え、最後は悔いなく笑顔で終われた高校総体。歌やダンス・バンド・漫才など授業では見ることの出来ない友人の一面を見ることができた矢高祭でのフリーステージ。矢上高校応援団、PTAによるバザー。文化部展示やクラス発表・生徒会企画など、楽しく、おいしく過ごした文化祭。一人一人の個性が発揮された体育祭。あの全身真っ赤なタイツ姿は、会場全員の記憶に残っていることでしょう。

また、部活動などで好成績を収める中、特に野球部は新チームになり、秋季大会で見事初優勝。卓球部では、選抜卓球大会シングルス県予選で見事優勝し、全国大会出場を決めました。さらに、産業技術科では、農業鑑定競技会全国大会で優秀賞。そして産業技術科のアイドルあすか号は邑智管内の子牛共進会で見事首席を獲得するなど、その他にも語り尽くせないほど多くの活躍があり、矢上高校の名を県内外に轟かせてくれました。

しかし、イベントがあったから、毎日の生活と違うことをするから思い出に残ったわけはありません。みんなと一緒に準備ができたから、みんなと笑い合えたから、みんなと励まし合えたから、だから、日々の生活も思い出として心に刻まれたのです。それは決して楽しいことばかりではありませんでした。時に苦しく辛いことも多々ありました。そんな時いつも側にいてくれたのは、家族・後輩・先生方・地域の方々、そして一緒に卒業を迎えるみんなでした。これまでみんなと共に過ごしてきたこの思い出は、私たちの大きな財産となり、一生私たちの心の中でキラキラ輝き続けることでしょう。

私は、三年間剣道部に所属していました。小学校一年生の時から、ここ矢上高校で稽古を積んできたので、いざこの道場を離れるとなると寂しい気持ちで一杯です。

いつも私の側で心の支えとなってくれた母、剣道という武道に出会わせてくれ、一番近くで成長を見守り、励まし続けてくれた父、愛のある指導をしてくださった先生方。そして、毎日の稽古を共に積んできた剣道部員。一生忘れることのないとても大切な思い出です。

卒業生の皆さん、私たちは卒業し、離ればなれになります。しかし、決して一人ではありません。これから先もずっと繋がっています。だから、未来をおそれず、大きく胸を張り、三年前、この矢上高校で出会えた奇跡をいつまでも忘れず、これからもずっとこの出会いを大切に、それぞれの道をしっかり歩んでいきましょう。

校長先生をはじめ、三年間お世話になった諸先生方、愛情のこもった弁当を作ってくれた家族、そして矢上高校を支えてくださっている地域の皆様、三年間本当にありがとうございました。私たちが今日無事に卒業できるのも先生方をはじめ多くの皆様のおかげです。

これからの私は、私の両親のように揺るぎない、あふれる愛で負けずに強く生きていきます。私の幸せを一心に望んでくれた両親の言葉が私の支えとなり、背中を押してくれます。今日まで本当にありがとうございました。そしてこれからも見守っててください。

最後になりましたが、皆様のご健康と矢上高校の更なるご発展を祈念するとともに、重ねてこれまでお世話になったことへの心からの感謝を申し上げ、答辞といたします。

令和二年三月二日

卒業生代表 三年一組 新屋 和華